

2024年8月1日


道頓堀ナイトカルチャー創造協議会は、 8月1日に「道頓堀観光マネジメント協議会」へ名称を変更しました。

道頓堀観光マネジメント協議会

道頓堀ナイトカルチャー創造協議会(会長:上山勝也)は、2024年8月1日に組織名を「道頓堀観光マネジメント協議会(略称 DKM)」へ変更いたしましたので、お知らせいたします。

道頓堀ナイトカルチャー創造協議会は、「夜・食・エンターテインメント」などの切り口で地域活性化を図るために2019年に設立、活動を続けてきました。この間、外国人観光客の増加による地域課題の変化に対応し、「道頓堀クリーンプロジェクト」「3R(リデュース・リユース・リサイクル)の実証事業」「IoT ゴミ箱の導入実験」など、その活動範囲を広げてきました。2025年大阪・関西万博から大阪 IR へと、今後も多様化する地域の課題に正対し、観光客の受入環境などにも対応領域を進化・発展させていくことを目指し、その活動内容を示す名称に改めました。

■ 組織概要

新 名 称	道頓堀観光マネジメント協議会(略称 DKM)		
変 更 日	2024年8月1日(木)		
体 制	会 長	道頓堀商店会 会長 上山 勝也	
	副 会 長	株式会社JTB 執行役員 ツーリズム事業本部 西日本エリア広域代表 北村 豪	
	理 事	項番4の参加団体・企業の会員より構成	
参加団体・企業 (順不同)	道頓堀商店会、株式会社JTB、公益財団法人大阪観光局、 NTTコミュニケーションズ株式会社、野村不動産コマース株式会社、 株式会社TryHard Japan、南海電気鉄道株式会社、 パナソニック株式会社、大日本印刷株式会社		
新ロゴマーク	 <p>道頓堀には、道頓堀橋や戎橋など、数多くの橋が架けられており、それぞれが地域の象徴として多くの人々から愛されています。 さらに、「橋」は「橋渡し」「架け橋」などの表現でポジティブな意味合いとして用いられます。観光客と道頓堀地域を、そして次の時代へもつなげていきたいという願いを、「道頓堀とそこに架かる橋」のデザインで表現しています。</p>		

■ 活動内容

道頓堀の価値向上を実現するため、観光の視点で以下の3つの取り組みを検討、計画、実施を行う。

1. 土台作り(受入環境整備)
2. 魅力づくり(コンテンツ運営・開発)
3. 観光交流拠点(実践拠点)

2025年大阪・関西万博や大阪 IR を見据え、今後更に増加する観光客を受け入れていくため、各社のソリューションやテクノロジーを活用した実証事業の検討・実施や事業化を通して、“世界に誇る安心、安全、キレイでオモロイ街”の実現に向けて活動します。

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>
道頓堀観光マネジメント協議会事務局 (JTB コミュニケーションデザイン内)
TEL06-4964-8836